



ZOOM UP

令和元年度の行事予定

・重点的取り組み等を説明



会議の様子

5月27日、熊本県市町村自治会館別館において、本会主催のもと「令和元年度国保主管課長会議」を開催し、県内各保険者から国保主管課長など52名が出席した。

初めに、中山常務理事が「国保連合会として、国保制度の安定運営を目指し、保険者による予防・健康づくり事業を推進するほか、医療費適正化など更なる充実強化を図っていくことが重要である。そのため、KDBシステムなどによる各種データ提供等の支援、保健事業支援・評価委員会による効果的で効率的な支援を図ることを基本方針に定め、事業を進めることとする」と挨拶した。

続いて、令和元年度の重点的取り組み等について各課長が説明した。



中山常務理事

【 総務課 】

- 令和元年度熊本県国保連合会行事予定について、本会が実施する会議や研修会等の年間計画を示し説明した。
- 風しんの追加的対策に係る請求支払業務について、国からの要請により、国保連合会及び国保中央会が請求支払いに係る業務を本年6月から実施すること、また、本会が行う業務内容についても説明した。
- 平成31年3月27日付け厚生労働省保険局国民健康保険課等の連名で『「国民健康保険団体連合会が行う収益事業に係る実費弁償方式の確認申請等について」の一部改正について』が発出され、国保連合会において新たな積立資産^{※1}を保有することが可能となったことに伴い、7月に開催する理事会・総会に新たな積立資産を踏まえた令和元年度予算の補正及び積立資産管理運用規則の一部改正を上程することを説明した。

※1 ICT等を活用した審査支払業務の高度化・効率化のための積立資産として、手数料収入総額の30%を上限とし、年度末（洗い替え方式）に積み立てることができる。

【 情報システム課 】

- 平成 27 年までに導入した国保総合システム端末（保険者端末）については、OS（Windows7）の延長サポートが、令和 2 年 1 月 14 日に完全終了になることに伴い、令和元年度に更改する旨の説明をした。
また、端末更改に伴うスケジュールについても併せて説明した。

【 保健事業支援課 】

- 令和元年度保健事業支援・評価委員会について、「支援、評価委員会の開催等」、「保険者への個別支援」、「学習会の開催」の説明をした。
- 今年度から熊本県単独で行う広報共同事業について、制作から放送まで一貫したコンセプトでの広報事業の展開を目指し、親しみやすい熊本県の PR キャラクターである「くまモン」を活用したテレビ CM 等を用いて、効果的に幅広く周知することを目的に事業を展開すると説明した。
また、今年度の広報共同事業の負担金の請求についても説明した。
- 令和元年度熊本県保険者協議会の事業について、基本方針を説明するとともに、様々な形での研修会、学習会を開催し、保険者のニーズに合わせた事業を引き続き行っていくことを説明した。

【 医科審査課 】

- あはき療養費審査支払業務について、平成 31 年 1 月から導入された受領委任制度に関連して審査支払業務を実施する場合の審査委員会設置、システム改修及びその他必要経費を基に試算した手数料の説明と、今後、保険者に当該業務実施に係る意向調査を行うなどにより、10 月頃までに方向性を固めたい考えであることを説明した。
- 海外療養費及び海外出産に係る出産育児一時金の不正請求対策として、本会を今まで以上に活用していただきたい旨の説明を行い、厚生労働省では「特別調整交付金基準の見直し」、「財政支援の拡充」を図ることが予定されている旨を説明した。
- 風しんの追加的対策に係る業務について、6 月以降の業務スケジュールを説明した。

【 求償対策推進課 】

- 平成 30 年度第三者行為求償事務受託取扱状況について、受領金額の年次推移等を説明し、「事故種別毎の状況」や「保険者からの受託状況」、「本会への委託時の留意点」等も併せて説明した。